

大相撲名古屋場所12日初日

大相撲の専内力士、安美錦(36)伊勢ヶ浜IIが2日、名古屋市の西陵高で、名古屋市の西陵高を訪れ、全国高校ラグビー大会に39度出場した。本紙に連載を寄せる。

四股、すり足…熱血2時間

「今年は頑張つて花園に行くぞ!」という安美錦のかけ声に、43人の部員が「オオ〜!」と応える。3年ぶり40度目の花園出場を目指す西陵高校ラグビー部。そのグラウンドに立つ浴衣を着た安美錦。見慣れない光景だが、実は山田監督の奥さんが安美錦の親戚という関係にある。

西陵高ラグビー部で  
相撲特訓



安美錦

花園は2012年度の第92回大会でベスト16に進んだが、その後の2年間は出場を逃している。初出場して以来、3年連続で出場を逃したことは一度もない。全国大会に行かない。花園を目指すだけじゃなく、全国優勝するくらい気持ちでやっしてほしい。予選突破は大変だけど、それが目標じゃない」と安美錦は熱い。

「花園行くぞ!」



「オオ〜!!」

ラグビー部の練習に参加する安美錦も。左後方は付け人の椿富士、右後方は付け人の椿富士とラグビー部員の練習を見る安美錦也=名古屋市西区の西陵高で(いずれも野村和宏撮影)

思いを口にした。安美錦も高校生からエネルギーを受け取った。名古屋場所はまだ成績がよくない。10年から負け越しが続いているが、「こっちもヨロシシってなる。一生懸命に声を出してやる。今のうちの部屋みたい。こういうのいいね。懐かしい感じがする」と活力を得た。「暑いのがあんまり好きじゃない。勝ち負けよりも、最後まで取ればいい」という名古屋場所

もなんのその。6年ぶりの勝ち越しを目指す。(岸本陸) 教え生かす 東間主将

○西陵高ラグビー部員は安美錦の助言を注意深く聞いた。普段から下半身トレーニングに四股踏みを取り入れており、SO東間主将は「足の向きや頭の引き具合など、普段気にしない細かい部分まで注意してもらえた」と喜んだ。

1996年度に全国制覇したが、ここ数年、愛知県勢は春日丘高の独壇場だ。「きょう学んだことを生かして、打倒春日丘をテーマに力をつけた」と3年ぶりの花園出場に向け、気合を入れている。

名古屋場所溜会績 懇親ゴルフ大会成績